

令和3年度 鹿児島市 坂元中学校区小・中連携研修会



時 間	内 容	
14:00～14:15	受付(体育館入口)	
14:15～15:05	5校時(授業参観)【50分】	
15:10～15:20	帰りの会・準備【10分】	A部会… 会議室・図書室へ
15:20～15:30	移動【10分】	B部会… 第一理科室へ
15:30～16:45	分科会【75分】	

令和3年6月21日(月)
鹿児島市立坂元中学校

令和3年度 坂元中学校区小・中連携研修会

1 目的

学習指導，生徒指導の諸課題を坂元小・坂元台小・坂元中の小中職員で連携して話し合い，解決の方策を探る。

2 内容

授業参観，分科会【A部会，B部会（小6・中1部会）】

3 本年度の小中連携部会のテーマ

児童・生徒の生きる力を育むための指導のあり方
～確かな学力の育成と生活指導の充実を中心にして～

4 分科会について

(1) A部会

ア 出席者・・・B部会出席者以外

イ グループ及び話し合いの柱

(ア) 授業改善について

「主体的・対話的で深い学び」の実現のための各校の現状，課題の確認と，課題解決に向けた改善のあり方。

(イ) 家庭学習について

「家庭学習強調週間」を充実させる具体的な取り組み例と，今後の実施方法。

(ロ) G I G Aスクール構想について

各校の現状と，発達段階に応じて身につけさせたい I C Tの活用法。

(ハ) 特別支援教育について

進路指導を見据え，スムーズな連携を目指した指導や支援のあり方。

(ニ) 生活習慣について

各校の「生活のしおり」等の確認と，共通実践事項の決定。

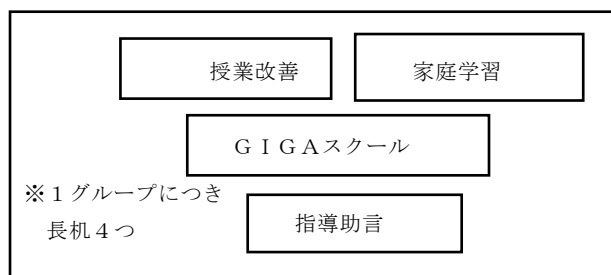
(ホ) 性の多様性の理解に係る指導について

現状と，学校で配慮できること。

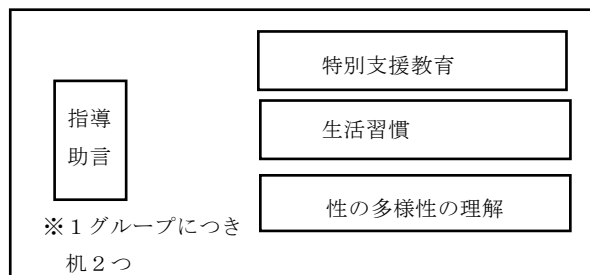
ウ 会 順 （会場：ア～ウ・・・会議室，エ～カ・・・図書室）

1 開会の言葉	15:30～15:31	<1分>
2 各校からの発表(現状・課題，対策)	15:31～15:40	<3分×3校>
3 グループ協議（自己紹介含む）	15:40～16:28	<48分>
4 グループ協議の発表	16:28～16:34	<2分×3班>
6 指導助言	16:34～16:44	<10分>
7 閉会の言葉	16:44～16:45	<1分>

エ 会 場 （会議室：管理棟2階）



(図書室：管理棟2階)



(2) B部会【小6・中1部会】

ア 出席者・・・昨年度の小6担任と今年度の小6担任，中1担任・副担任，養護教諭等

イ 話し合いの柱

小学校から中学校への進学において，新しい環境での学習や生活へ移行する段階で，不登校等の生徒指導上の諸問題につながっていく事態等を防ぐためにできる，小・中連携のあり方をどうすればよいか。

ウ 会 順 （会場：第一理科室）

1	開会の言葉	15:30～15:31	<1分>
2	協議・情報交換	15:31～16:34	<63分>
	学習指導，生活指導，英語の取組，食育・給食，保健室利用 等		
3	指導助言	16:34～16:44	<10分>
4	閉会の言葉	16:44～16:45	<1分>

5 分科会まとめ

A部会

(1) 授業改善について

ア 授業を参観して。

・ 対話をする場面があまりなかった。

→ 考える時間を多く持たせたかったり，単元によってドリル中心だったり，対話中心だったり
と取り組む時間が異なる。

・ まとめの時間が十分に取れない。

→ 書くことに多く時間を取られる生徒がおり，まとめの時間が十分に取れない。
しっかり考える時間を確保したい。

・ 振り返りをする時間の確保。

イ 対話的な学びを考えた授業法。

・ コロナ禍ではあるが，対話的な学びをできるようにしたい。

・ 話し合いをする際の位置や換気の徹底。

・ 発表するときの立ち位置や，ロイロノート等の活用。

(2) 家庭学習について

ア 提出物の提出状況→決まった児童・生徒が提出できない。

イ タブレット使用の際等，ローマ字入力を身につけさせる必要がある。宅習で取りませるなどして学習させている。

ウ 小学校で提出物を出さない児童については，児童クラブとの関係で放課後に取りませるのは難しいので，昼休みに課題に取り組ませている。

エ 小学校時代から学習習慣を身につけられるように指導していきたい。

(3) GIGAスクール構想について

ア 小学校・中学校で使う機種が違ったり，配備された台数が生徒数なかったりして，十分な活用ができていない。

イ 各学校での取組についても足並みがまだそろっていない。

ウ 小学校では，中学校入学までに身につけさせたい内容を共通実践していきたい。

(4) 特別支援教育について

ア 中学校卒業後の進路について保護者や生徒が十分に理解していないことが多い。特別支援学校にしか行けないと思っているケースもあるので，公立・私立高等学校を受験する生徒がいることを，小学校でも紹介してほしい。

イ 手帳を取得しようとしめない保護者が多い。将来，就職等で持っている方がいい場合もある。

ウ 交流学習会についての内容，コロナ対策等についての確認。

エ 保護者が学校に相談することをためらう場面がある。学校と保護者が小さなことでも連絡を取り合い，連携することが大切。

(5) 生活習慣について

ア 各学校での課題。

- ・ 家庭と学校での様子が違いがみられる。オンラインゲームでの課金や、悪口などの事例がある。
- ・ 学級編成で落ち着いても、慣れてくると変化がみられることがある。万引きや、オンラインゲーム、他人の家にあがり込み、たまり場となる事案があった。
- ・ LINEでの悪口やインスタグラムの使用等、問題となる事例が見られた。

イ 不登校について。

- ・ 昼夜逆転している児童生徒が多い。
- ・ 家庭訪問に行くと、ほとんどの児童生徒と話ができる。
- ・ 不登校になった理由は、はっきりしないことが多い。

(6) 性の多様性の理解に係る指導について

ア 今年度から3校とも男女混合名簿を使用。健診のときなど、場面によって男女別名簿を使うことがある。現状で困っていることはない。

イ LGBTについて。対象児童生徒がいる学校については職員研修を実施し、理解を深めている。また、できる範囲で対応をし、児童生徒が落ち着いて学校生活を送れるよう配慮している。

B部会

(1) 小学校6年生までに身につけてほしいこと

- ・ 提出物の期日を守る、守らせる。
- ・ 自分たちで解決する力をつける。
- ・ 授業時間と休み時間の切り替えができる。
- ・ 学習道具（シャープペンシル、ペン、鉛筆等）をきちんと準備する。

(2) 給食について

- ・ 中学校では、給食時間が小学校より10分間短くなる。
- ・ エネルギー量は小学校の1.2倍になる。
- ・ 準備や食べる時間の確保。小学校によっては、6年生で給食時間を10分短くして終わらせる練習をしているケースもあった。
- ・ 中学校では現在、残食はほぼゼロ。
- ・ 全部つぎきることや、デザート等を個人間でやり取りさせずに担任に届けること等、小・中学校で共通して確認する。

(3) 学習面

- ・ 小学校では、日記、宅習帳、漢字、プリント等の課題を毎日出している。未提出者は、各学級2、3名ほどいる。
- ・ 中学校では漢字、英語の宅習帳等をほぼ毎日出している。未提出者は昼休み、放課後等を利用して取り組ませる。部活動等は、提出後参加させている。

(4) 生徒指導面

- ・ スマートフォン等の端末でのオンラインゲームなど、使い方の指導を児童・生徒はもちろんだが、保護者に向けての注意・喚起を行う必要がある。教師からだけでなく、外部機関等を活用した講話等の実施も検討したい。

(5) その他

- ・ 気になる生徒についての情報交換。